

2023年 病院・地域精神医学

総目次

第66巻 (通巻222～224号)

2023年度 理事・評議員合同会議議事録 85

編集後記 田上美千佳 89

第66巻第2号 (通巻223号)

〔巻頭言〕2023年～2024年を迎えて 木村朋子 91

企画特集 精神科病院不祥事・虐待事件再考第1部

特集の趣旨 編集委員会 95
 報徳会宇都宮病院事件～過去のものではなく、
 現在もお続くものとして～ 中島直 96
 大和川病院事件とはどういう問題か。 山本深雪 101
 神出病院事件をめぐる経過と課題 高橋亮也 106
 滝山病院事件 木村朋子 114

第65回総会 (京都大会) 特集<3>

シンポジウム5：妊娠期からのCo-production～当事者・こども・
 家族・支援者の対等なパートナーシップ～
 1.当事者・家族の立場から考えるCo-production 稲田美紀 122
 2.当院における妊娠期から切れ目のない支援の取り組みと今後の
 課題について 北岡由衣 125
 3.周産期メンタルヘルスにおける精神科医の関わり現状
 大矢希 128
 4.当事者の力を信じ、寄り添う支援と関係機関連携 速見典子 131
 指定発言 上野千穂 131

シンポジウム6：法律家との連携における可能性

1.京都における弁護士と精神医療福祉関係者との関わり～定期出
 張法律相談・定期懇談会を通じて～ 山口亮 134
 2.法律家との連携を求めて 李マリジャ 136
 3.退院後を含む地域における相談支援と権利擁護 金井浩一 137
 ○シンポジウム6 質疑討論 138

シンポジウム7：ピアサポートのこれから～京都方式の可能性～

1.ピアサポートの専門性～権力の視点から 白田幸治 145
 2.「ピアサポートのこれから～京都方式の可能性」の紹介「ピア
 の私が考える『コミュニケーションの基本』と『理論と守秘義
 務』」 高見啓由 147
 3.専門職とピアサポーターの協働、リカバリーについて
 なっちゃん 149
 4.ピアサポートのこれから 京都方式の可能性 山崎理恵 151
 5.国の障害者ピアサポーター養成研修の課題と京都方式の展開
 桐原尚之 152
 6.ピアサポートのこれから 京都方式の可能性 松田美枝 154
 ○シンポジウム7 質疑討論 156

【研究論文・報告】

精神科病院の身体拘束実施に関する看護師並びに准看護師の教育
 的ニーズをめぐる状況について 加藤博之 162

【資料】

ピアサポートの中断要因と継続に必要なことに関する探索的研究
 ～精神保健福祉領域における雇用契約によらないピアサポートに
 ついて～ 魚岸実弦 173

【追悼】

田原明夫先生を偲んで 山下俊幸 183

【学会だより】

2023年度 第2回理事会議事録 188
 2023年度 第3回理事会議事録 189

編集後記 藤本豊 190

第66巻第1号 (通巻222号)

〔巻頭言〕終わらぬコロナ、壊れる社会 中川実 1

第65回総会 (京都大会) 特集<2>

シンポジウム2：ハームリダクションー依存症治療の転換ー
 1.刑事政策学との関連からみたハームリダクションー物質乱用
 は、疾病か？～ 石塚伸一 6
 2.刑罰より支援を 野田哲朗 10
 3.依存症者や物質使用障害者をみて薬物使用全体を語ってきたの
 ではないだろうか 加藤武士 16
 4.ソーシャルワーク実践からハームリダクションを考える
 松浦千恵 19
 ○シンポジウム2 質疑討論 22

シンポジウム3：精神科医療における看護師の役割

1.精神科看護師の役割ー密室の脅威に対して私たちにできること
 ～ 武田慎太郎 28
 2.当院における精神科看護の現状 養田きよみ 30
 3.精神科医療における看護師の役割ーソーシャルワーカーの立場
 から 館澤謙蔵 31
 ○シンポジウム3 質疑討論 34

シンポジウム4：当事者に聞く地域の医療と福祉

当事者に聞く地域の医療と福祉 ゆうやさんと両親、久我圭史、
 鶴飼智申、山田高弘、佐通淳子、田中秀暁、丁春輝、養島豪智 43

一般演題4：様々な当事者

1.統合失調症ケアラー質問票 (JSCQ) の作成とその活用 神澤尚利 59
 2.援助者のためのセルフヘルプグループ「ONE STEP」～援助者
 が援助される仕組みのひとつとして 齋藤静保、山中達也 62
 3.「クライシスプラン」導入プロジェクト～病院勤務のピアスタッ
 プを起点とした、「クライシスプラン」導入を目指した多職種連携
 の取り組み (自己決定的のために) ～ 村山文彦、後藤章仁、亀沖昌陸、鶴飼純心、増川ねてる 64
 4.脱ひきこもり者のその後のキャリア形成をめぐる一考察ー支え
 る人のいる意外な所ー 山岸竜二 65

一般演題5：児童期・思春期・青年期

1.児童相談所一時保護児童における精神科医療ニーズの実態～そ
 の1～ 長倉いのり、内田祐子、田中浩一郎、田中一史、
 森未央子、田中絢子、上野千穂、村松陽子 68
 2.児童相談所一時保護児童における精神科医療ニーズの実態～そ
 の2～ 内田祐子、長倉いのり、田中絢子、森未央子、田中一史、
 田中浩一郎、上野千穂、村松陽子 70
 3.デイケアにおける発達障害を有する大学生の支援諏訪部亮一 72
 4.診療所のデイケアにおける大学生自閉スペクトラム症専門プロ
 グラムの役割と意義 嶋村春花、和田麻奈美、片岡茉好 73

【若手実践・研究】

組織内での〈やっかいな問題〉に向き合うための対話ー精神科病
 院での「未来語りのダイアログ」の実践を通してー 館澤謙蔵 76

【学会だより】

2023年度 第1回理事会議事録 84

第66巻第3号（通巻224号）

【巻頭】適性評価（セキュリティー・クリアランス）制度を含む「重要経済安保情報保護法案」への反対声明

【巻頭言】精神障がい者に追い込まれない・追い込まれないために。追い込まれても立ち直るために 三吉謙 191

企画特集 精神科病院不祥事・虐待事件再考第2部

あの精神科病院不祥事は“事件”なのか 長嶺真智子 197
 犬山病院での「身体拘束ゼロ」の取り組みから見えてきたものー不祥事はなぜ繰り返されるのか、精神科医療の常識からの乖離ー 館わかな 須田幸治 緒方未輝子 高沢悟 201
 市民の基本的人権と地域共生～セルフアドボケイトの試みと市民の評価～ 中村佳世 209
 精神科病院不祥事・虐待事件再考 東奈央 217
 国連が指摘したパターンリズムの問題と優生思想との決別に向けて 山田悠平 227

第65回総会（京都大会）特集＜4＞

理事会企画シンポジウム：混迷を深める国の施策・あるべき姿を追求する精神医療現場・語り始めた当事者～身体拘束の諸相から考える 座長：長谷川利夫、関口明彦 演者：伊藤博吉、大堀尚美、高岡健 234

第66回総会（神奈川大会）特集＜1＞

一般演題1：身体拘束・人権

1.人権モデルでの改革の意義と限界，医療モデルの必要性についてー障害者権利条約と日本弁護士連合会決議・提言の検討を通してー 中島直 251
 2.身体拘束全廃後1年経過した犬山病院からの報告（第2報）～職員の行動制限に対する意識変化と治療環境への影響について～ 中野克哉，吹田正治，緒方未輝子，須田幸治，末続なつ江，高沢悟 253
 3.精神科病棟における身体的拘束減少のための介入についてのシステマティックレビュー 小宮浩美 小宮全 小林雅美 256
 4.身体拘束の基準告示改正で重要なのは順守事項である 原昌平 258
 5.精神保健支援弁護士制度を活用した精神科救急病棟での患者さんの権利擁護 安河内順子，館澤謙蔵，蓑島豪智，石井達也，山口亮，渡邊邦彦 260
 6.車椅子ベルト使用ゼロを目指して～現状の限界と課題を考える～ 大戸勇士 吉村大 蓑島豪智 近藤通子 福井舞帆里 261
 7.沖縄県北部A村B区の相互扶助の仕組みー現在の世話人的区民からみた課題ー 村上満子 263

一般演題3：地域移行・権利擁護

1.医療観察法の反医療性ー長期経過後申立事例ー 中島直 266
 2.「クライシスプラン導入プロジェクト」（継続報告2年目） 病院勤務のピアスタッフを起点とした「クライシスプラン」ー「生きる基軸」ーリカバリーー基本に立ち返っての提言ー 村山文彦 亀沖昌睦 後藤章仁 鵜飼絢心 増川ねてる 268
 3.救急外来に勤務する看護師の自殺企図患者に対する認識 加藤千明 伊藤美智子 木野有美 270
 4.非自発的入院者に対する権利擁護ーオーストラリアにおける地域治療命令の実際ー 松本真由美 272
 5.「地域移行支援」を利用した退院支援におけるピアサポートの意義ー聞き書き的生活アプローチを用いてー 人見裕江 黒石かずは石井薫 寺田准子 274
 6.医師が退院前訪問を行うということ 井上舜太 手塚直人 274
 7.「受け皿」としての精神科病院ー滝山病院からの地域移行にみる精神保健福祉法体制の精神科病院の構造 長谷川唯 276

【編集委員会インタビュー】先達に聞く⑥ 作業療法士を生きる：終わりになき存在の証明

富岡 詔子 279

【学会だより】

023年度 理事・評議員合同会議 議事録 300

編集後記

西尾雅明 302